

笑顔あふれるまちづくり



いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員

NO. 286. 2007. 3. 11.

4月入学目前に突然発表

2008年平中と二中の統合なぜ？

誰ひとり納得がいかない説明会

2010年平塚小学校を平塚中学校に統合する小中一貫校計画は、地域から周辺校が統合になるのと反対の声が上がっています。ところが計画に荏原第二中学校を加え、3校による小中一貫校への変更が突然発表され、子ども無視のすすめ方に驚きと不安が噴出して



「教育委員会の一方的なやり方は子どもを傷つける」……保護者が教育懇談会計画

発端は2月6日の平中と二中PTA役員対象の説明会、続いて9日10日両校の就学予定児童保護者向け、23日28日在校生保護者向け説明会。区教育委員会の説明は「荏原西地区小中一貫校の母体校に二中を加える。先立ち平中と二中を統合し新しい中学校を設置。時期は来年4月が適切な時期」。一貫校に加わる以前、平中が工事に入る来々年、平中

しい。私は反対です。○何で急ぐのか。ボタンの掛け違いを手順を踏んでやり直せばいい。在校生に負担にならないよう選択した3年間を保障してほしい。

理解できません。人間、子どものことですよ

二中に移し、2校が新しい学校になるのです。性急なすすめ方になぜ？どうして？やめて！の声が噴出しました。

○扱っているのは人なのですよ。一時にやったら爆発してしまう。建物でも、地域のこともない、人間子どものこと。勝手に作った学校は魅力がない。人集まりませんよ。

（二中保護者の意見）

「今の学校のままで卒業させてほしい」……親子の願い

○寝耳に水で驚いている。この学校を選んで3年間この学校で卒業することを選んだのに詐欺です。相談もせず進めないでは

○当該校長、PTA会長も知らない。二中の統合はいつどこで決まったのか。誰の要望なのか教えてほしい。混乱の始まりはどこか。



か。誰の要望なのか教えてほしい。混乱の始まりはどこか。

区教育委員会の答弁

一つの町会に二つの中学校はいかがか？地域からの要望を聞き判断。

●一貫校の説明の中で、近隣町会から荏原二中のありようが話された。一つの町会に二つの中学校はいかがか。教育委員会として二つの中学校を一つにしたほうが、荏原西地域の環境が望ましくなる。

●区民の意見を全部聞くことは時間もない。50年残る学校なので設置を考えていく。

●長い年月をかけて痛みが広がっていく。3年かけても5年かけても、どういうやり方をしても何らかの不満は残る。不安が出てくる。それをどう最小限にするかご意見をいただきたい。子ども達にある程度の犠牲を強いることは止むを得ない。傷を最小限にするために手当てをしたい。

以上荏原2中での説明会の抜粋。



平塚中保護者の意見



一年からずっと一緒に来ている。二中と混ぜないで

○少人数学級が良くてこの学校を選んだ。クラスは一クラスで一緒に来ているので、二中の生徒と混ぜこぜにしないでほしい。同じ担任を残してほしい。

○統合でどうなるのか不安。来年は3年生受験なのに子どもに与える影響が心配。

○いじめで不登校になり苦勞して、少人数の平塚に通えている。：統合で不登校になったら、転校しかないのか。

○学級数と職員数はどうなるのか。

○1年生は野球で頑張っているの、グラウンド野球の一面を残してほしい。

○学校選択制の始まりの時には、統廃合はしないと説明したのに、平塚、二中どちらかがなく。選択制のときの約束とちがう。

○小中一貫校は7年生が卒業してからでもいい。

区教委の答弁 (大きな拍手)

困難あっても乗り越える力を付けさせたい

●環境に変化に困難があっても中学卒業までに乗り越える力を付けさせたい。心配のところは、学校と共に力を付けていくと理解してほしい。

●生活環境、流れの中でなじめない時は、途中の転校、きちんと理由があれば止むを得ない。

●クラス編成と教員配置は、統合加配検討の余地ありと数字が示されましたが、書き取れませんでした。

不十分ですが、会場の怒りは伝わったでしょうか。どう考えても無謀な方針です。保護者の切実な意見に対し、課長の答弁は心のないロボットのようなくり返しの答弁。区民のための当たり前前の区政取り戻すため保護者が立ち上がりましたのでお知らせします。

教育懇談会

3月9日(金)

PM7:00~

平塚橋会館 1階

(呼びかけ人)

馬島知子

酒井つる子

080-6504-6678